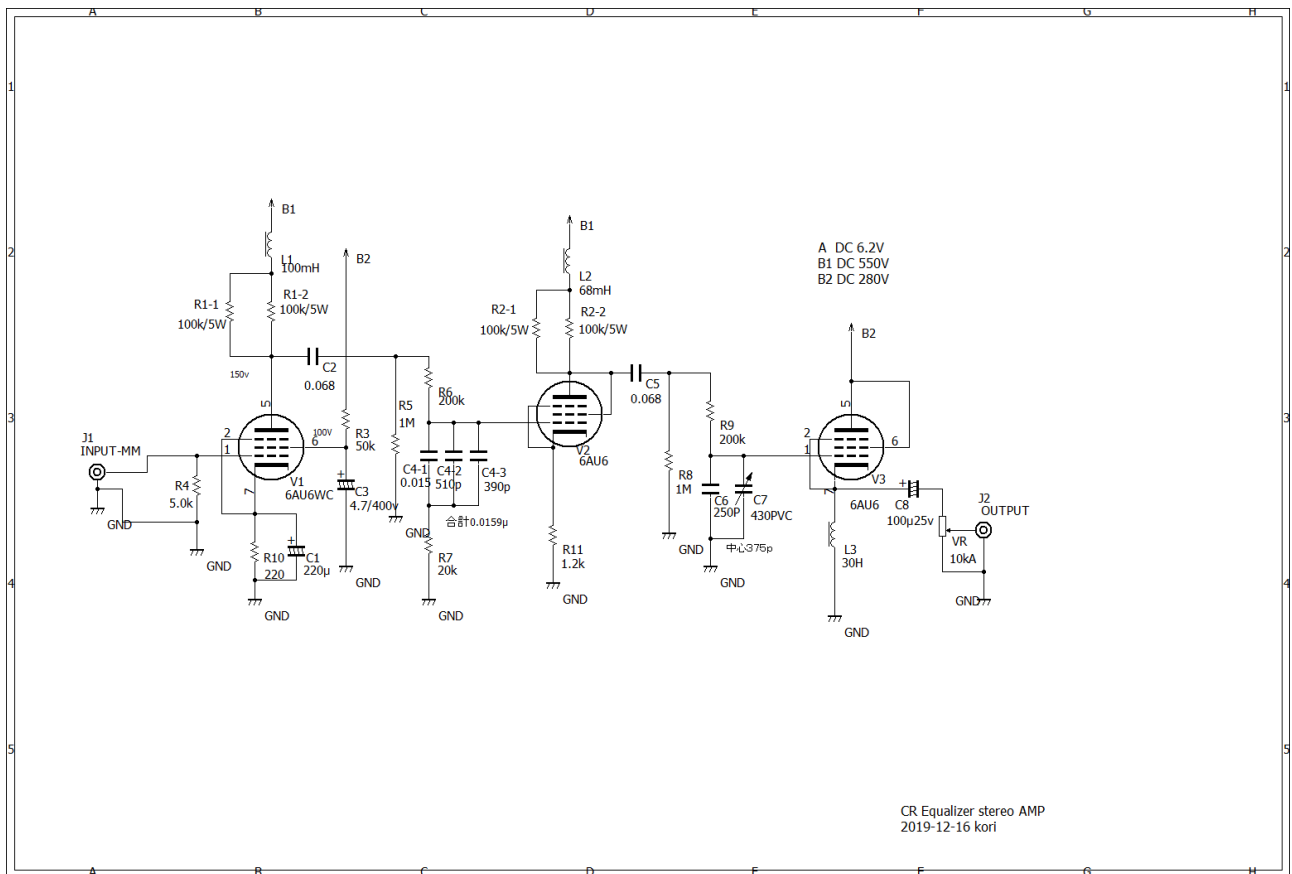


お寺大会 エントリーシート

出品者名 (フルネームでお願いします)
桑折知幸@浜松市
作品タイトル
6AU6—CR 型イコライザ エアバリコントーンコントロール付き
作品紹介 (回路図や構成図、コスト、出品者本人のコメント・所感など)
<p>CR 型イコライザを作ってみたいなーと思っていたところ、スタジオアワーハウスさん http://our-house.jp/ の中にある「真空管のコアな世界」http://our-house.jp/vtm/index.htm で作例が掲載されている「6AU6 を 6 本使ったスーパーヘッドエンド」が面白そうなので、制作してみることにしました。</p> <p>一段目の 5 結でゲインを稼いでから低域側時定数を通過します。二段目は 3 結で 10 倍ほど増幅してから高域側時定数を通過して、最後はチョーク負荷のカソードフォロワーでインピーダンスを下げて送り出しています。カソードチョークは東栄変成器で 30H 30mA 直流抵抗 890Ω という、この用途にピッタリなものが売っていました。</p> <p>さらにこの Web を読み進めていくと、高域時定数の一部をバリコンで構成してトーンコントロールの役割をさせてみよう、という趣旨になっています。あまりにも面白そうなので、これも真似しています。</p> <p>在庫にあったバリコンの回転角 90° のところで 125PF 程だったので、残りの 250PF をマイカとスチコンでパラにして構成しました。</p> <p>で、このトーンコントロールは RIAA カーブ高域側の偏差を上下するので、音質的にはモコモコやキンキンすることが無く、効いているのか効いていないのか判りにくい、しかしやっぱり効いているような効き方です。</p> <p>あなたもエアバリコン回してみたいでしょう？ 回してみてください。</p>

この用紙は 2 枚記入し、1 枚は作品に添付、1 枚は事務局に提出してください。
この作品紹介を参考に大会レポートを作成します。



回路図はアワーハウスさんのサイトを参照してください。出力のコンデンサはタンタルですが、容量を大き目に変更しました。電源の回路図は省略していますが、ケミコンの爆食いと30Hチョークで念入りに平滑しています。A電源にもチョークを入れてリップルを抑えてあります。

周波数特性は下図のようになりました。時定数用のコンデンサを測定しながら調整した結果、左右チャンネルはよく揃ったのでRchだけ表示しています。横軸が周波数、縦軸はゲイン(dB)です。バリコンが最大、90度、最小の三点で測定しました。

